

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホエール学園らいとはうす		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団指導と個別指導のハイブリット型でお子さまの特性やその時の状況に応じて対応しております。	支援内容を日々のお子さまの成長に合わせ実施しております。相談支援専門員や訪問支援員、学校の先生などの意見を交え、担当者会議を開催し、情報共有や支援の方向性を決定しています。	学校や施設以外での活動を実施しております。スポーツ交流会や動物とのふれあいやお世話体験など。
2	保育所等訪問支援との併用が可能で、お子さまの特性や支援内容をお伝えし学校との連携を取ることができます。	ホエール学園での様子や支援内容を分かりやすくお伝えする為、積極的に動画や資料を用いて情報共有を図っております。	お子さまの日々の変化や状況に応じて訪問頻度や情報共有の回数を柔軟に対応していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	市内の公立学校への送迎が多く、ご希望されるご利用者様すべての送迎対応が困難であることです。保護者様による送迎のご協力をお願いするケースが増えています。	市内全域の公立学校をご利用のお子さまに関する問い合わせが多く、下校時間もほぼ同じ時間帯の為送迎対応が困難な現状があります。	現状の困難ケースを把握し、今後のニーズも含め検討してまいります。
2			
3			